

Yonago East Weekly



【多様性を活かしながら会員満足度と輝かしい未来の実現を目指す】

- 創立／1968年4月24日 ● 事務所／米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel(0859)32-5531
 ● 例会日／水曜日12:30～13:30 ● 例会場／ANAクラウンプラザホテル米子
 米子市久米町53-2 Tel(0859)36-1111
 ● 会長／足立博俊 ● 幹事／中村 剛士 ● 会報／田中美希

【出席報告】会員数：110名

出席数：58名 欠席数 44名
 出席免除会員8名：荒川(雄)君 杉原(弘)君 新納君 宮本(守)君 高橋(孝)君 小谷君 植田君 野津君
 出席率 58.87 %

【メーキャップ】

10/15 会員11名 作文コンテスト二次審査

《幹事報告》

- ・本日、2024-25合同IM報告書配布（登録会員様）
- ・クールビズ 10/31まで
- ・10/19 秋の大山一斉清掃
- ・次回例会10/22・松陰高校インターアクト部来訪
- ・青少年交換留学受入学生さん来訪
- ・11/5 100%出席例会
- ・10月休会 10/29



【会長挨拶】

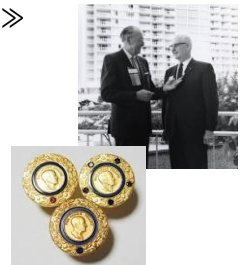
スマイル28,000 円 (526,000円)

創立記念日祝：松原君
 本人誕生日祝：岩崎浩君
 主夫人誕生日祝：野坂君 牧田君 川端彩華君
 結婚記念日祝：野島君 美濃君
 ○ロータリーの友10月号の「この人訪ねて」に取り上げていただきました。杉本君
 ○米山奨学金制度の卓話、拙い説明でしたがご清聴ありがとうございました。楠君（米山記念奨学会委員会リーダー）
 ○中華料理燕京は今年で創業30周年を迎える事となりました。11/16ゴルフコンペ記念パーティを開催しますのでぜひご参加下さい。石川君

《表彰：ポールハリスフェロー》



内田良一君 宇田川君
 尾沢裕子君 塩谷君
 伊藤由子君 岩崎浩君
 面谷君
 梅田君 (順不同)



おめでとう!

本日の例会では、ロータリークラブの重要な概念について共有します。内容は（1）理念、（2）使命（ミッション）、（3）ビジョン、（4）価値観（バリュー）、（5）ロータリーの目的の5項目です。特に、会員満足度アンケートで「会員数が増える中、ロータリーの理念をしっかりと伝えることが重要」とのご意見（60代男性）が寄せられ、クラブ全体で理念を再確認する契機としたいと考えています。なお、「ロータリーの目的」については『ロータリーの友』に掲載されているため、本日は説明を省略します。

理念は「奉仕を通じて国際理解、親善、平和を推進し、地域に持続可能な変化をもたらす」こと。使命は「職業人と地域のリーダーのネットワークを通じ、人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解・親善・平和を進める」ことです。ビジョンは「世界・地域社会・自分自身に良い持続的変化を生むため、人びとが手を取り合って行動する世界」を掲げ、2025-26年度RIメッセージは「UNITE FOR GOOD（良いことのために手を取りあおう）」。

価値観は「親睦・高潔性・多様性・奉仕」。米子東RCでは、今年度「5年後のビジョン作り」に取り組んでおり、これらの概念を基盤に活動を進めます。皆さまの理解と参画をお願いいたします。

【米山記念奨学会について】 米山記念奨学会委員会 楠リーダー



「ほぼ1年ぶりに例会に出席していますので、知らない方が多いと思いますが、楠明彦と言います。10月は米山月間ということで、皆さんは既にご存じの事と思いますが、米山奨学会のことを発表させていただきます。世界から来た外国人留学生を対象にした奨学金制度ですが、制度が出来たのは戦後間もなくのことです。ロータリー米山記念奨学金制度は、日本のロータリーの父、米山梅吉翁の名前を冠した事業です。と言いましても、梅吉さんの財産で作られたものではありません。梅吉さんの生前の功績を称えて名前が付けられました。米山記念奨学金制度の概要ですが、昭和27年に事業が始まって以来、一貫して日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。財源はすべて会員からの寄付で成り立っています。この奨学金の最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生には世話クラブの例会や活動に参加してもらい、交流することを大切にしています。この奨学金ですが、戦争で日本がアジア諸国で迷惑を掛けたことへの反省から昭和27年に始まりました。アジアから優秀な学生を招いて学費を援助するとともに、二度と戦争の悲劇を繰り返さない“平和な日本”を肌で感じて貰いたいというのが理由でした。発足当時はアジアからの留学生に、たぶんアジアからしか留学生は日本に来なかったでしょうが、今でも対象がアジアから来た奨学生が多いです。奨学生の人数ですが、累計で24,830名、今年度は964名です。

金額等ですが、表の通りで学部生が月に10万円、マスターコース、ドクターコースが月に14万円です。以前は複数年貰う奨学生もいたようですが、今は原則一年です。毎月第一例会に呼んで手渡しして、近況報告をして貰っています。またクリスマス会とか各種行事に招待しているようです。クラブによっては1年では期間が短いということで、ご存じのように米山奨学金は地区を通して出ますが、それとは別にクラブ独自に奨学金制度を作って複数年面倒をみるところもあるようです。私が13年前にメイクアップさせてもらった青森県の弘前西ロータリークラブさんがそうでした。米山奨学生とクラブ独自の奨学生の二名がいっしょに例会に来ていました。奨学生の選考ですが、学力だけでなく、将来日本との友好親善に役立ってくれるかというのも選考基準としているようです。

次に寄付金の状況です。事業の規模ですが、支出は昨年度は12億8千万円が奨学金に、3千万円が地区や世話クラブへの補助費、4千6百万円が事業部門の職員人件費に使われたようです。

昨年度の地区別の一人当たりの寄付の実績ですが、結構、地区によってバラつきがありますが、日本に34の地区があって、私たちの2690地区は下矢印の所ですが19位。平均よりも少し低い位置のようです。

第一位の2590地区 かなり突出していますが、ここは神奈川県の中の（横浜市・川崎市）で構成しているようです。第二位は2770地区 埼玉県南東部の地区のようです。第三位は2660地区 大阪府の北半分の地区です。地区の考え方やクラブの考えたものもあるのですが、一番少ないのが2500地区北海道の東半分の所のようです。私が、苦勞して調べたのですが、私は入会して15年ですが、クラブに入る前にお世話した奨学生が二人いました。一人目が28年前に島根大学に留学していたポーランド出身のツエラ、グジェゴシュさん。

当時は会員みなさんで世話をされたと思いますが、先程も言いましたが、特に奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーをカウンセラーと呼ぶそうで、懐かしいお名前が載っていますが、ツエラさんの時は能勢先生が担当されていたようです。

二人目が19年前に鳥大医学部に留学していた郭權慧さん。野坂会員がカウンセラーを担当されていました。郭は、私がクラブに入る前に他の団体で何度か会ったことがあります。専門は眼科、目医者さんで台湾の台中市で出身と聞いていました。米山奨学生のOB・OG達が主体で作ったクラブが国内に6つ、台湾に2つあるようです。奨学生のOB・OG達が、母国に戻って活躍しているようです。台湾、韓国、タイ、スリランカに米山校友会という名前の会があるようです。当クラブは奨学生が今までに二人だけで、また20年間いませんので次年度以降の会長の英断を期待します。

9月の地区の研修会で聞いたのですが、どこかの政党のように、JAPANファーストではないのですが、最近日本も以前のような経済大国ではないのだから何故外国人だけなのか、日本人の学生向けの奨学金制度を作ったらという意見もあるようで、これから審議委員会で検討するようです。

以上で終わりますが、拙い説明でしたが、ご清聴ありがとうございました。」

【ロータリーの友】雑誌委員会 松原 純 会員

- 右開き P7 この人を訪ねて 杉本真吾会員 米子東RC
左開き P2 RI会長メッセージ
P42 友情が生んだもの ロータリー財団委員長
右開き P13 川柳



「メモした紙はあったが意味不明」・・・松原会員が共感された句



杉本真吾会員！！
ぜひみなさん読んで
みてください♪



赤線で何度も修正してますー



※松原純会員はこの日のために何度もお話しの原稿
を下書きしては練習して挑まれました涙